

## 特集

# モンテッソーリ教育の魅力



Casa Bilingual Montessori School

## モンテッソーリ教育での発達支援について

(株)フューチャーフロンティアーズ / フロンティアキッズミオテゾーロ (児童発達支援事業所)

窪谷 麻理

モンテッソーリ教育は、イタリア初の女性医師であり、教育学者であるマリア・モンテッソーリ博士が、障がい児教育を行ったのが始まりです。私は毎月、系列園でモンテッソーリ活動が適切に行われているか、何園か巡回チェックを担当しています。各園で観察していると、配慮が必要な子どもが増えていることを感じていました。そんな時に弊社でも就学前の発達に不安のある子どもや、障がいのある子どものケアを行う「児童発達支

援事業所」を立ち上げることになりました。私もモンテッソーリ教師として、保育園から異動し開設準備に携わりました。施設の名前はイタリア語で「私の大切な人」を意味する、「ミオテゾーロ」に決めました。モ



色付き円柱



プレイルーム



米注ぎ



葉を拭く



数の棒と数字カード

ンテッソーリ教育の理念に基づき子どもを良く観察し、自主性・主体性を尊重し、子どもたちの可能性と未来を広げること運営方針に掲げています。物的環境として「日常生活の練習」「感覚教育」「言語教育」「数教育」「文化教育」の活動を準備し、来所する子どもたちの興味や発達段階に合わせ、教具を入れ替えています。何をやるか？ 活動は子どもが選び、自分自身を育てる大事な仕事という意味で、「おしごと」と呼んでいます。

モンテッソーリ教師資格三六歳は松本静子先生（以下、静子先生）、〇〇三歳はサラ・ブレイデイ先生から学び取得しました。配慮が必要な子どもや保護者の支援は、専門家のアドバイスを受けながら行ってきました。児童発達支援事業所での支援はより専門性が必要であると感じ、（一社）日本個人差教育研究所モンテッソーリ初級支援者養成コースが開講されることを知り、障がい児教育を一年間学びました。

教師や保育士の側が感じる困った子の多くは、先生の言っていることが理解できずに困っているだけで、何を言っているのか分からず間違った行動をしてしまうことが多い。発達障がいの特性から、生きづらさ、困難さを抱え、多くのストレスを感じながら生活しています。困難さの原因、その困っているところを理解し、支援につなげる必要があります。特性のある子どもたちの行動の背景を理解し、仮説に基づいた支援を考えるための「仮説形成法」の基礎を学びました。科学的な観察を通じて、子どもを多角的に読み解く力を養い、支援の第一歩を築くよう指導していただきました。

ミオテゾーロの利用者は、幼稚園・保育園・子ども園等の母集団と併用しているお子さんが多く、午前の場合は一時間、午後の場合は約二時間の利用が基本となっています。短い時間の中でも子どもたちは（おしごと）を選び、自ら活動する姿が観られます。モンテッソーリ教

師として主観や解釈を避け、子どもたちの行動を事実として記録するには練習が必要です。子どもたちの困難な行動を分析し、原因について仮説を立て、それに基づく支援を立案し検証しました。Aさん（三歳男児）は原因が明確になり、支援につながりました。Bさん（四歳男児）は、何度も立案し検証しても支援にはつながらず、難しさを感じています。他児も支援につながったケースと、この支援で良いのか？ まだ検証中のケースがあります。今年度はセカンドステージとなるモンテッソーリ発達支援士コースで、実践支援を学び始めました。モンテッソーリ教育環境の中でBさんのような子どもへの具体的な支援方法を探求し、実践力を深めることを目標に受講中です。

保護者支援のためにも、行政の福祉サービスも知っておく必要があります。ミオテゾーロのような児童発達支援事業所を利用するには「受給者証」が必要で、市区町村に申請すると交



書斎



マリア・モンテッソーリ博士のお墓



AMI 本部

付されます。取得後は行政から給付金を受け、一部の自己負担で利用できます。負担額は世帯所得によって異なり、利用費用の1割であることが多く、三歳児〜五歳児はおやつ代等の実費以外は無償化されています。幼稚園、保育園、子ども園等と併用も可能で、両方とも無償化の対象となります。

今年にはモンテッソーリ教育の学びを深めるため、一月にA T I主催で連載でもお馴染みのミラノ在住のマリアーニ綿貫愛香さんがガイド通訳をする「北イタリアモンテッソーリ視察の旅」に参加し、ミラノ市内のモンテッソーリ園、ベルガモのC I S M (\*A M Iモンテッソーリによる六歳から十二歳までの教員資格が取得できるトレーニングセンター)、隣国スイスのルガーノ湖へも足を運びました。三〜十二歳までの施設Scuola Montessori Bilingue di Milanoの子どもたちは、英語とイタリア語を使い活動しています。〇〜三歳 Spazio Montessori は子どもたちの活動と共に、保護者支援



AGM



キューケンホフ公園



にも力を入れている施設です。  
Scuola Montessori Paritaria も  
三〜十二歳までの教育施設で、  
二二〇年以上前の初期のモンテッ  
ソーリ教具を大切にしている歴史  
を体感しました。島国の日本とは  
違い高速道路の途中に国境があ

り、この日は偶然、パスポート  
チェックも無くスイスに入国でき  
ました。ルガーノの Montessori  
School は、三〜十五歳までの施  
設です。子どもたちはフランス語、  
イタリア語、英語、ドイツ語を使っ  
て活動していました。学校内の広  
い部屋に全生徒が集まり、日本に  
ついて調べたことを中学生が英語  
で発表してくれました。最後に全  
員で「We Are the World」を歌  
う姿を観て、感動しました。日  
本からの参加者も伝統的な日本  
の遊びを紹介し、私も持参した  
玩具で交流できました。モンテッ  
ソーリ教育の【今】を感じる旅で、  
マリア・モンテッソーリ博士が触  
れた教具を手にし、寄りかか  
る本を執筆された木に触れた時は  
魂が震えました。

四月には国際モンテッソーリ協  
会 (Association Montessori  
Internationale: 以下、AMI)  
の年次総会 (AMI Annual Global  
Meeting) に参加するため、オラ  
ンダに参りました。AMI はモン  
テッソーリ教育及びモンテッソー  
リ運動を推進する国際機関とし

て、マリア・モンテッソーリ博士  
自身により一九二九年に設立され  
ました。AMI の本部は、モンテッ  
ソーリ博士が晩年を過ごしたア  
ムステルダムにあり、建物はモン  
テッソーリ博士の元邸宅です。急  
な階段を上がるとモンテッソーリ  
博士がお使いになっていた書斎、  
ヨーロッパの伝統的な部屋が当時  
のままの状態で大切に保存され  
ていました。歴史や部屋の調度  
品の説明を聞いた後私も椅子に  
座り、机の上に置いてある入場  
者名簿にサインすることが出来  
ました。ノードワイクにあるお墓  
参りもでき、「いつか、訪れたい！」  
と思っていた夢が叶いました。デ  
ルフトにある〇〜十二歳までの施  
設「Casa Bilingual Montessori  
School」にも見学に参り、日本  
から留学している女子の姿を觀  
て、「私もここに通いたい！」と  
思いました。子どもたちは英語  
とオランダ語を使って学んでいま  
した。

会議の中で、東京国際モンテッ  
ソーリ教師トレーニングセンター  
(以下、センター) 五十周年を記

念し、センターと同窓会からの  
寄付金をAMIにお渡しするこ  
ともできました。五十年という  
歴史あるトレーニングセンターは  
世界でも珍しく、百歳になられ  
た名誉センター長 静子先生の長  
年の功績が称えられ、感謝状も  
贈られました。昨年は白寿を記  
念して、『心つないで―一九七〇  
年代わたしのモンテッソーリライ  
フ』を刊行なさいました。一九七  
〇年代に『家庭の友』に連載さ  
れた記事を抜粋編集し、初めて  
一冊の本となったものです。五十  
年以上前の記事とは思えない、  
今の時代にも必要な内容です。  
静子先生の語りかけるお声が聞  
こえる気がしながらページをめ  
くり続け、あっという間に読み  
終えてしまいました。

最後に有名なフラワーパーク  
「キューケンホフ公園」にも足を  
伸ばし、美しい  
チューリップ、ス  
イセン、ヒヤシン  
スの香りに包まれ、  
幸せな気持ちで帰  
国しました。



Frontierkids Mio Tesoro  
ホームページ